

一般社団法人 日本救急医学会 代表理事 坂本 哲也 先生 御机下

「医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版」の普及啓発についてご協力のお願い

一般社団法人 日本環境感染学会 理事長



標記につき、下記の通り、日本救急医学会会員へのガイドラインの周知を依頼したく、ご協力を賜りたいと存じます。ご高配のほどよろしくお願いたします。

背景・理由:救急医療に従事するスタッフは、医療関係者の中でも特に感染のリスクが高く、COVID-19においても、診療にあたる救急スタッフの感染事例が複数報告されています。総務省消防庁が公表している「救急隊の感染防止対策マニュアル ver.2.0」や5学会合同ワーキンググループ*が作成した「救急外来部門における感染対策チェックリスト」において、救急スタッフに対して十分かつ適切な感染対策が必要であることが述べられています。

本年は、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えており、様々な見地からの感染対策が求められている。当ガイドラインを作成している学会として、まずは必要な方にガイドラインをしっかりと認知して頂き、必要な予防策を講じて頂けるようにすることが必要であると考えております。

一方で、企業が行った2,3次救急病院に所属する救急医を対象にした調査では、「医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版」の改訂内容を把握している医師の割合は、約22%であったと報告を受けています。一般社団法人日本環境感染学会は、日本の感染制御の発展を担う学会として、救急医療を守る＝日本の医療を守るという責任のもと、取り組むべき課題であると考えております。

普及啓発する方法:当ガイドラインを救急医療に携わる医療関係者に周知するため、日本環境感染学会から日本救急医学会に、日本救急医学会のホームページに「医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版」のURLを掲載することを要望いたします。その後は、日本救急医学会から会員への更なる周知を期待したいと考えております。ご高配のほどよろしくお願申し上げます。

*日本救急医学会、日本感染症学会、日本環境感染学会、日本臨床救急医学会、日本臨床微生物学会